武蔵
MUSASHI

東京都立
武蔵高等学校
同窓会会報

58
2023.5.20



Topics

今年の同窓会総会

日時：2023年6月17日(土)

場所：都立武蔵高等学校「視聴覚室」

総会・アトラクション13時～　校舎見学(希望者)15時～

今年のアトラクションはこの方！

マグロやウナギを増やすには―いち武蔵生の水産行政遍歴―

元 水産庁長官　長谷 成人 氏(28回C組)

※懇親会、ホームカミングデイは中止いたします

母校 東京都立武蔵高等学校・附属中学校の今！

生徒会より・在校生の活躍

水泳部・ラグビー部・数学オリンピック銀メダル

お元気ですか 同窓生からのお便り

昨日・今日―近頃の私

WEBアンケートへのご協力お願いします

表紙によせて「おくださがこ」さん

東京都立
武蔵高等学校同窓会
東京都立武蔵高等学校 同窓会事務所
〒180-0022 武蔵野市境1-3-4 エーブル武蔵境203
Tel & Fax 0422-27-7571

おくださがこさん(18回F組)の作品

会長挨拶

コロナを克服して、日常が戻りつつあります。
同窓会の原点、母校都立武蔵高校で総会を開催いたします。



新企画 同窓生共通一言インタビュー 今回のお題はこちら♪

在校時代、わたしのマイブームはこれでした!

66年前、ラグビー同好会を作り旧男子校の立川高校と試合をしました。旧女子高から共学になって7年、先生が驚いたのが、印象に残っています。

同窓会会長 **土屋 正忠** 12回C組（1959年度卒）

100年前のスペイン風邪以来と云われたコロナ禍は3年半にして、ようやく収束を迎えました。同窓会の皆様はコロナ禍を乗り越え、お元気でお過ごしのことと存じます。

この10数年母校は時代に合わせて大きく変化しました。中高一貫校となり、当初は各学年高校5クラス、付属中学3クラスで合計24クラスでしたが、その後、中・高ともに4クラスの合計24クラス制になりました。現在移行中で、今年の高校の卒業クラスは5クラス、中学は3クラスの変則でした。あと数年で中・高とも4クラスとなる見通しです。

武蔵高校は、元々優秀な生徒を数多く輩出していますが、とりわけ中高一貫校になってからは、都内屈指の進学校として卒業生が各界で活躍するようになりました。そこで今回の同窓会は母校で開催することにいたしました。総会、記念講演会の後に、母校の見学会を企画いたしました。久しぶりで青春時代にもどり、母校を訪れてみませんか?

記念講演は第28回卒業生で元水産庁長官・長谷成人さんに海国日本の漁業の現状と展望をわかりやすく、面白く講演してもらうことになりました。なお、現役の生徒たちも聴講してもらう企画もあります。若い世代と共に、ひとときを過ごしましょう。

会報リニューアルのお知らせ

同窓生の皆さん、お元気ですか?

同窓会は「同窓生のネットワーク作り」「友好親睦」「現役支援」を目的として活動しています。そして、その活動をより活性化するために会報「武蔵」を年１回発行しています。1966年に創刊してから、今年の58号まで半世紀以上にわたって母校、現役、同窓会、同窓生に関する情報を伝えてきました。

同窓生は90歳を超えた先輩から今年卒業の18～19歳の後輩まで3世代にわたる構成です。在学中の学習環境も学習内容も異なっていることと思いますが、同じ学校で青春時代を過ごした体験は共通する貴重な思い出でしょう。会報を多くの世代の方に手に取っていただけるように、今年の58号からデザインのリニューアルを図り、明るく見やすくしました。今後は同窓会の情報誌としてさらに内容を充実させて行きたいと考えています。

そのためにも皆さまからの情報提供やご意見をお待ち申し上げています。

昨年の同窓会総会/アトラクションの報告 2022年度（令和4年度）

2022年6月11日(土)、武蔵野スイングホールにて第76回同窓会総会を開催いたしました。土屋正忠会長と来賓の南和男統括校長の挨拶に始まり、令和3年度事業報告、決算・監査報告、及び令和4年度事業計画案、予算案の提案があり、すべて承認されました。

引き続いてのアトラクションは岡部 直士 氏(23回生A組)(公益財団法人全日本スキー連盟副会長、一般財団法人東京都スキー連盟会長)による「北京2022オリンピックに想う」と題して映像を交え講演していただきました。

総会と講演の様子はオンライン配信され、同窓会ホームページで視聴することができます。また、懇親会とホームカミングデイは中止となりましたので、「ホームカミングデイ」の代わりとして、会報「武蔵」57号と同窓会ホームページに34回生の「お便りコーナー」を設け有志の方々の近況報告を掲載させていただきました。





今年の同窓会総会のお知らせ

2023年度（令和5年度）

2023年度 同窓会総会は「母校(都立武蔵高校)」で開催決定!

今年の同窓会総会は2023年6月17日(土)、まさにホームカミングデイにふさわしく母校で開催します。
総会では2022年度事業報告・決算報告、2023年度事業計画案・予算案、役員改選が審議されます。総会後のアトラクションでは生徒と一緒に元水産庁長官の28C長谷成人氏の講演を拝聴し、講演終了後に希望者による校舎見学会も予定しています。今年も懇親会とホームカミングデイは行いませんが、ホームカミングデイ該当の35回生有志の「お便りコーナー」は会報「武蔵」58号に掲載しています。

日 時 2023年6月17日(土)
13:00～総会(受付は12時)
14:00～アトラクション
元 水産庁長官 長谷 成人 氏(28回C組)
母校の高校生と校歌斉唱
15:00～校舎見学

会 場 東京都立武蔵高等学校・視聴覚教室
東京都武蔵野市境4-13-28(最寄:武蔵境駅 徒歩5分)
※上履き・スリッパを持参ください。アトラクションは生徒の参加も可能です。
※懇親会・ホームカミングデーは中止いたします。

今年のアトラクション&テーマ

マグロやウナギを増やすには —いち武蔵生の水産行政遍歴—




EU環境局長とのウナギ資源問題協議(ブリュッセル)


日中協議(アモイ)


養殖場視察(鳥取県)


日本海でのスルメイカ資源調査


国後、択捉、色丹訪問時(国後島沖)

元 水産庁長官 長谷 成人 28回 C組(1975年度卒)

同窓会の土屋会長からご依頼があった際、皆さんに聞いていただくような話題があるかと躊躇しましたが、サッカー部をはじめ思い出いっぱいの武蔵の関係者に少しでも関心を持ってもらえるならとお引き受けしました。

高1の夏休みに長崎県五島列島で海の魅力に目覚め、大学で水産学や生態学を学んだ私が、水産庁で40年近く働き、資源利用で競合する外国との交渉にも携わりながら、国内の漁業者とともに、サバ、サンマ、マグロ、ウナギなどの資源回復に取り組んだ話を中心にお話しさせて頂ければと思っています。

温暖化への対処は今世紀最大の人類の課題だと思います。これからも貴重な食料資源を持続的に利用していくために何ができるのか、現在取り組んでいるCO2の貯留先として有望な海藻などに由来するブルーカーボンについても触れられればと思っています。

在校時代、わたしのマイブームはこれでした!
在校時代から今に至るまでサッカーです

[プロフィール] 北海道大学水産学部卒後1981年水産庁入庁。資源管理推進室長、漁業調整課長、資源管理部審議官、増殖推進部長、次長等を経て2017年長官。2019年退職。この間、北太平洋漁業国際委員会(日米加)、北太平洋溯河性魚類委員会(日米加韓露)(いずれもカナダ・ヴァンクーヴァー)、宮崎県庁等に出向。ロシア、中国、韓国等との漁業交渉で政府代表。現在、(一財)東京水産振興会理事、海洋水産技術協議会代表・議長として、「洋上風力発電の動向が気になっている」「ブルーカーボンで日本の浜を元気にしたい」といったテーマで情報発信中。サッカー部マネージャーだった妻美子(28A)との間に2男1女、孫8人。地元の味の素スタジアムに通いFC東京を応援。

ようこそ同窓会へ!新卒業生(75回生)新幹事の皆さんです

2022年度卒(令和4年度卒)

75回生 新幹事

A組
B組
C組
D組
E組

母校 東京都立武蔵高等学校・附属中学校の今!

校長先生よりメッセージ

東京都立武蔵高等学校・附属中学校
統括校長 南 和男



アニメ映画のモデルにもなる魅力的な校舎や生徒のために粘り強く指導する教員も自慢ですが、やはり何といっても武蔵の最高の自慢は生徒です。

「国際社会に貢献できる知性豊かなリーダーの育成」を教育目標に、すべてがここに収斂されるように設計された教育活動によって、数々の理系の国際オリンピック大会や全国大会などへ出場し、中学生・高校生がそれぞれの得意分野で自己実現を図っています。そして国内外の難関大学進学も将来の夢の実現のステップと捉え、目先の学習ではなく自己投資としての学習に励んでおります。

これらは先輩方の築いてくださった「向上進取の精神」をはじめとする様々な伝統の賜物と感謝しております。卒業後は、皆様のお仲間に迎え入れていただけたら幸いです。今後とも本校の教育活動に理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

生徒会より

高校生徒会執行部



私たち生徒会役員は、現在「繋げる」をテーマに掲げて活動しています。近年、新型コロナウイルスによって武蔵祭や校外学習の中止など、様々な活動が制限されていましたが、今年度は感染対策を徹底しながらも全ての行事を開催することができました。

生徒会の活動としては、「自ら行動する」きっかけ作りのため、書き損じハガキ等を回収し、世界寺子屋運動に武蔵全体として参加する「助け愛運 動」の実施、また、気候変動を改めて見つめ直すきっかけの場となるように、地球温暖化進行によって迫り来る「地球の寿命」を刻むタイマー、【クライメートクロック】の設置など、新しい活動にも取り組みました。

今まで受け継がれてきた行事、そして、新しく作り上げられた取り組みをこの先も「繋げられる」よう、これからも武蔵の特色を大切にして、活動していきます。 [高校生徒会

中学生徒会役員会



第15代中学生徒会役員会です。生徒会役員会では、役職にとらわれず役員7名で協力して活動しています。主な活動を4つ紹介します。(1)生徒総会の運営です。豊かな学校生活となるように、生徒会役員が入念に準備をしてから開催しています。近年は、ペーパーレス化を目指して、貸与されたタブレット端末に資料を配信する形で実施しています。(2)「I-POS(アイポス)」というアイデアポストの再開に向けた取り組みです。生徒の意見を取り入れていけるようにしています。(3)「助け愛運動」という書き損じはがきや切手等を集める活動です。今年度は、約25,000円を寄付することができました。(4)「武蔵王」という武蔵に関する川柳やポスターの作品を募集して表彰する活動です。高校生徒会執行部と中学生徒会が合同で活動する機会を増しています。

以上のように、中学生と高校生が同じ校舎で学ぶことの良さを最大限生かせるように、生徒会活動をより充実させていきます。今後ともご協力をお願いいたします。[中学生徒会

昨年の生徒の活躍

2022年度
(令和4年度)

◆「第66回 日本学生科学賞 東京都大会(中学の部)」において、6名の生徒が東京都代表として中央審査に進む「受賞者」に選ばれる
◆高等学校「科学の甲子園東京都大会」において「東京都知事賞(総合第1位)」を受賞、
東京都代表として2023年3月　に開催される「第12回科学の甲子園全国大会」に出場
◆「第10回 科学の甲子園ジュニア全国大会」に東京都代表として出場し、「優良賞」を受賞
◆「第8回 PDA高校生即興型英語ディベート全国大会」において個人賞であるPOI賞(Point of Information賞)を受賞
◆「第22回 日本情報オリンピック本選」において「敢闘賞」を受賞
◆「日本生物学オリンピック2022」において、「銅賞」及び「ファイナリスト特別賞」を受賞

35回生のお便り

コロナ禍のため今年もホームカミングデイが開催できませんでした。
そのため、昨年に続き対象年次であった35回生(1982年度卒)の方
から楽しいお便りを送って頂きました…!



2014年35回生同期会

大脇 弘之

35回 同期会 (1982年度卒)

(35回B組)

人生悲喜こもごも。様々な業界や世界各地で輝かしい活躍や功績を挙げる同窓生諸氏の姿や記事を見ては心底感動し、毎回誇りに思う。久しぶりにでも会えばいつも変わらずにいて、私に大きな元気と、生きる勇気をくれる。これこそが私の誇りであり宝である。

人生に落ち込んでいる後輩諸君がどこかにいるなら、少し肩の力を抜いて、是非武蔵の仲間たちに会いに行ってみてほしい。きっと、「まだ先へ進んでいける!」という力をくれる筈だと自分を振り返り、思いを込めて、参加して笑いあってみました!


2023年35回B組クラス会

河上 毅

35回B組クラス会 (1982年度卒)

ホームカミングデーに合わせて、コロナ禍でもいろいろ解禁の動きあり、やりたいねーとのうずうず感も手伝って、勢いで担任もお招きし35Bは本誌 投稿目的の緊急クラス会を2月に開催しました。

各自1分間スピーチに人生がてんこもり笑、把握している範囲でのクラス全員の状況の案内等これまた懐かしい名前を口にして、現在Lによる 通信手段で参加者を募集拡大中です。運動部員が多く手間がかかるクラスだったと認識されていますが、それは今でも変わらない・・・かな?私たちは還暦まであと少しで職場に行けば役員だの管理職だったり、ですけどクラス会ではやはり生徒と担任、相変わらずの厳しいお言葉、でも女性に囲まれれば鼻の下は伸びまくり。

クラス会・部活OBOG会を行いました

卒業から42年! 還暦クラス会 石川 三枝子

33回D組クラス会 (1980年度卒)

2022年10月9日日曜日に新宿にて33回D組の還暦記念クラス会を開きました。2年前のホームカミングデーの機にはコロナで会うことはできませんでしたが連絡先を再確認することができました。

今回の還暦を機にクラスメイトからクラスメイトへとLINEでつながり現在26名がつながることができています。当日は、担任だった亀岡 雅子先生はご欠席でしたが、当日の参加者でメッセージ集を作り、お届けすることができました。



この日はまだコロナの心配もありながらの状況だったので、20名の参加でしたが41年振りの再会という人もいて、一人一言では大盛り上がりし、あっという間の2時間でした。

山岳部同窓会活動

山岳部同窓会 会長 塩塚 義雄 (40回D組)

山岳部同窓会

大菩薩ヒュッテの維持管理を実際に行う受け皿として再結成された〝山岳部同窓会〟。〝ジオツアー〟の実施などヒュッテベースの諸活動や、〝ラ・フランスの会〟と称しほぼ毎月有志で山に登ったり、〝ボサツ図書館(OBOGに関連する本を母校図書館へ寄贈)〟など現役生との橋渡しをする活動をしています。

22年度はコロナ禍でなかなか山行に行けない現役生たちの役に立てればと、卒業間もないOBが現役生のテント泊をサポートしたり、山行の候補地をアドバイスする等の自発的な活動もありました。


2023年山岳部同窓会新年会

新年会には8回生から73回生までが集まり大盛況でした。23年度もヒュッテの活性化を軸に、現役生たちとも密に連携して、アグレッシブで魅力的な活動をしていきます。

「お元気ですか」同窓生からのお便り

正直に生きる



板を担いで山を登り、滑って降りるのが最高の楽しみ

元 プロスノーボーダー・現 保育士
田中 佐知（旧姓 平子）
54回 A組（2001年度卒）

高校時代、私の周りには色々な力を秘めた友達が沢山いた。友達ながら、すごいな～とよく感心していた。そんな友達と過ごしていると、自分も何か成し遂げたいという気持ちが芽生えていた。

高校卒業後、私は体育教師を目指して大学に進学し、そこで出会ったのがスノーボード。1人でも夜行バスに乗り、スノーボードをしに行っていた。卒業後、散々迷いながらも、スノーボードを真剣にやるなら今しかできないと思い、夏は室内練習場に毎日通い、冬は山の近くに引っ越して毎日滑る生活をした。そんな生活を3年続け、念願だったスロープスタイル(ジャンプなどをする種目)の、プロ資格を取得、メーカーからのサポートもしてもらえることになった。

私は人生願えば叶うんだと浮かれていた。そんなある日、過信してジャンプしてしまった一本。膝蓋靭帯、前十字靭帯断裂で、手術とリハビリを1年以上もする事となる。その後復活するも、今度は反対の膝の前十字靭帯を断裂。なんとも悲劇なプロ生活となり、絶望的な気持ちの中で、教育にやっぱり興味があることを自分の中で見つけ、幼児教育をやってみたいという気持ちになった。

それが転機となって、保育園で補助として働きながら、保育士免許を取得。怪我した時はもうこの先これ以上の自分にはなれないし、スノーボード以上のものには出会えないと思っていた。でも、今は保育士という職業が自分の天職のように感じている。今では二児の母にもなり、子育てにも奮闘する日々。そしてスノーボードは私の一番の趣味だ。スノーボードを通じて知り合った友達もまた、一生の友達だ。

振り返ると、武蔵で魅力いっぱいの友達と出会えたこと、怪我して辛かった時も含め、スノーボードに出会えたこと、好きな仕事に出会えたことは、私の人生の三大ラッキーだった。これからも今を大切に、迷ったり、悩んだりしながらも、自分に正直に人生を歩んでいきたい。

在校時代、わたしのマイブームはこれでした！
ガストで山盛りポテト食べながら、友達と勉強という名のおしゃべり

奇跡のご縁



フランス出向当時の同僚達による私の送別会(左)

メルシャン株式会社 代表取締役社長
長林 道生
35回 F組（1982年度卒）

光陰矢の如し。早いもので武蔵卒業後、40年の年月が経過しました。

私にとって武蔵を一言で表現すれば、まさに〝自由〟。多様な仲間達との楽しい思い出。自由には常に責任も伴うことで、無意識に自分で考え、決断することを学びました。〝自由〟を尊重し、異なる生き方をも大切にする。〝ダイバーシティ〟や〝インクルージョン〟という価値観育成への想いが、当時から込められていたのかと思うと、本当に武蔵生でよかったと誇りを感じます。

語学が好きだった私は、武蔵で雑誌や米軍基地放送等の生きた英語も、自由に学べる環境に恵まれ、大学はフランス語学科に進みました。就職は商社など海外に強い企業を考えましたが、OB達の「仏語は永年アフリカ駐在だよ」の一言に不安が募り、急遽身近で好きなビール会社(キリンホールディングス株式会社)に入社しました。人生は、自分の意とは違う想定外のことがよく起こります。逆にそれが奇跡のご縁と、新たな選択を生むから楽しいのではないでしょうか。

永年営業やマーケティングの仕事に従事し、海外勤務の夢も果たせました。日本人は私だけの職場で、異なる仕事観や幸福観を肌で学んだフランス企業への出向。言葉や文化の違いを超えて、同じ夢に向かい、皆が一つになれたときのエネルギーの素晴らしさを学んだベトナムでの経営経験。今でも繋がる現地同僚との絆は、一生の財産です。そんな異文化の環境でも乗り越えられたのは、若いときの武蔵の〝自由〟な環境での経験がとても力になっています。

現在はグループのメルシャン株式会社で代表を務めています。「ワインはぶどう作りから」。いわば農業。畑や作り手の熱い想い、地域社会のストーリーが展開され、そこにこそワイン本来の価値や奥深さがあります。コロナ禍でつながりが希薄になる中で、人と人を繋ぎ、人生の様々な瞬間を豊かに彩ってくれるワインの魅力を、一人でも多くの人に伝えていきたい。社員や世界のパートナーと共にその夢を実現してまいります。

武蔵という奇跡のご縁で結ばれた絆。私達のかけがえのないこの宝を、これからも大切にしていきたいと思います。

在校時代、わたしのマイブームはこれでした！
FEN放送やベストヒットUSA

夢に向かって生きる

岩﨑 健一郎 55回 D組（2002年度卒）

この度は寄稿の機会を頂きまして、深く感謝申し上げます。

高校卒業から早20年、皆様お元気でしょうか?

私は武蔵高校卒業後、一浪して東京大学へ進学し、大学院まで進みました。大学院修了後、社会人3年目 で技術系スタートアップを起業し、10年ほど経営者として、研究の事業化や大企業との提携に携わっておりました。会社に寝泊まりするような忙しい日々を送っていましたが、事業も軌道に乗り、昨年、念願の事業譲渡が叶いました。現在はアルトサックスを吹いて、晴耕雨読の生活を送っています。

社長時代は講演の機会も多く頂いたのですが、最も印象的だったのは、先生になった武蔵の同期の誘いで、高校生向けに講演したことです。「答えを出す仕事はAIがやるので、答えのない問題や、人間にしかできない仕事に取り組みましょう」などと語りましたが、こちらがハッとするような鋭い質問が飛び出し、良い刺激をもらいました。武蔵高校時代にお世話になった先生方も聞きにいらして、緊張しながらも思い出に残る仕事となりました。



武蔵高校の同期の職場での講義。自分の先生がいて緊張



研究の事業化が評価され、東京都から大賞を頂きました

またコロナ禍から始めた事として、月に1回武蔵の同期とのリモート雑談会をしています。最近読んだ本の話や、市況やビジネスの話、数学やサイエンスの話など、ざっくばらんな会話を楽しんでいます。疎遠になった頃もありましたが、声をかけて繋いでくれた方がいて、おかげで友情が続いています。武蔵高校の友人達は、私のかけがえのない宝物です。

武蔵の同期は理系・文系問わず、政治や経済に詳しく、自分の意見を持った方が多かったです。私は受験のための勉強ばかりしていましたが、高校時代から実社会の勉強をしておけば良かったと思います。(社会に出てから苦労しました...)現役中高生の皆様も、机上の勉強だけでなく、実社会での勉強も大いにして頂ければと思います。そう遠くない将来、思っているよりもすぐに「社会をにないゆくとき」がやってきます。地域活動やアルバイトなどの課外活動の他、学校で友達を作る事から始めるのも良いと思います。



念願のアルトサックス　妻を感動させるのが目下の目標

さて、私の現在の社会活動としては、後輩の起業家を支援しています。起業家というと自由な若者のイメージがありますが、近年では様々な形 があります。企業内で新規事業を担当する「社内起業家」、学生やサラリーマン、主婦の方が自分の時間で取り組む「副業起業家」、第2の人生で一旗揚げる「シニア起業家」などなど。起業家とは職業ではなく、心のありようを言うのだなと感じています。支援をするうちに、次第に自分のやるべきことが見えてきました。それは、起業家に限らず、人間が本来持っている、夢を叶える力を引き出す事です。「80億人が夢に向かって生きられる世界を作ること」を目標に、次の事業の準備をしています。

ご興味のある方は、https://keniwasaki.com/ からお気軽にご連絡下さい。一緒に夢を叶えましょう。

在校時代、わたしのマイブームはこれでした!

ギター弾き語りと部活動（合気道と合唱）

表紙によせて

水彩画を描く――　作者紹介 おくださがこさん

18回 F組（1965年度卒）

高尾山麓に住んで50年余。ここで家庭を持ち、子育てし、仕事に出ながら朝夕山を見て暮らしてきました。高尾山は小さな山ですが、豊かな生態系を持ち、疲れた心を癒し、さらに生きる喜びをくれる不思議な山です。

この山に高速道路のトンネルを穿つという計画を聞いたときは信じられない思いでした。美術の教育を中心に子どもたちの感性を育む仕事に誇りと生き甲斐をかけてきた私は、大都会に住む人の心のよりどころを壊し、たくさんの小さな命を奪う計画を何とかして止めたいと、高尾山の自然をまもる活動に参加しました。

それを通じて、気候変動、生物多様性の問題や公害の問題にも関心を持つようになり、退職してからは地球環境問題と美術教育に関わって活動し学んでいます。

3.11以後、私たちは、経済最優先で走ってきた今までの生き方でいいのかと考える人が増えていると思います。平和で、安心できる、持続可能な、自然と共生できる社会をめざして、一緒に考え合っていきたいと思います。







絵描写の様子/自宅の庭にて

［略歴］1948年東京生まれ。信州大学教育学部美術科卒。東京都公立小学校・都立養護学校の美術教員として35年勤務。新しい絵の会、美術教育を進める会会員。公害・地球環境問題懇談会幹事。

［著書］高尾山麓からの花だより(かもがわ出版)大人が楽しむはじめての塗り絵(いかだ社)草花カット集(かもがわ出版、いかだ社)みんなちがってみんなともだち(特別支援教育コーディネーター連絡会)等

在校時代、わたしのマイブームはこれでした!

玉川上水に沿って歩いて帰ると1時間以上かかったと思いますが、たまに川沿いを歩くのが好きでした

2023年3月末現在
卒業生総数26,587名
内不明・物故等 10,939名

同窓会公式ページのご案内

同窓会公式ページでは、同窓会活動の活性化を推進するためホームページをリニューアルしました。本会報に載せ切れなかった、多くの卒業生や教職員からの「お便り」や「卒業後の活躍」、「クラス会・同期会・OBOG会」の告知や開催レポートを盛り沢山に掲載をしています。

「みんなどうしているかな?」と思う日に、仲間をつなぎ・世代間をつなぐポータルサイトになることを願って運営をしています。同期・同級の懐かしい顔ぶれもいるのではないでしょうか。

オンライン上での会員情報の変更や、ホームページでのクラス会・同期会の開催告知なども行えますので、どうぞご活用ください。



https://musashi-dosokai.com/　都立武蔵 同窓会　検索